

## 地域文化財総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	群馬県沼田市	2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化
3 実施計画の名称	沼田市文化遺産活性化事業	【計画の改善時期】 平成32年度	
4 実施計画期間	平成 23 年度 ～ 平成 33 年度		
5 実施計画の概要			
<p>沼田市第六次総合計画（平成29年3月策定）の基本構想及び基本計画（第3章 教育・文化～未来を担うたくましいひとづくり・まちづくり～第3節 文化・芸術活動を創造します）を踏まえ、次の事業を実施する。</p> <p>（1）「古典の日」制定を記念した事業を行い、沼田市の文化遺産周知及び普及啓発を推進する。</p> <p>（2）沼田市指定重要民俗文化財「沼須人形芝居（有形・無形）」、「沼田祇園囃子（無形）」、「平出歌舞伎（無形）」の後継者育成。</p> <p>※沼田市第六次総合計画は、URL (<a href="http://city.numata.jp/shisei/keikaku/keikaku/">http://city.numata.jp/shisei/keikaku/keikaku/</a>)</p>			
6 実施体制			
<p>本実施計画に係る全体の企画、調整や各補助事業に係る指導等は以下の担当課等が行う。</p> <p>○教育部文化財保護課：文化財の取り扱い等に関する指導等</p> <p>○教育部生涯学習課社会教育係：事業に関する調整等</p> <p>本事業は次の団体が実施する。</p> <p>○沼田市伝統文化活性化実行委員会（委員長：岡部 忠治）</p> <p>構成団体（沼須人形芝居あけぼの座、沼田祇園囃子保存会連合会、平出歌舞伎保存会）</p> <p>補助事業に係る書類は実行委員会、成果物等は構成団体が管理することとし、実施期間終了後は、沼田市に継承する。事業終了後には、実行委員会において構成団体の実施報告及び評価を行い、必要であれば文化財保護課から指導等をもらい、計画に反映させる。</p>			
7 実施計画における目標と期待される効果		別紙①のとおり	
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	～平成30年度交付決定額： 19,071 千円	平成31年度申請額： 597 千円
(2) 実施事業の概要		別紙②のとおり	
9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）			
<p>地域の文化財保存団体等の連携による組織的な運営により事業の効率化が図られるとともに、市内外の人々の地域の文化遺産（伝統芸能及び伝統文化）へ関心増が期待できる。</p> <p>また、市指定重要民俗文化財である「沼須人形芝居（有形・無形）」、「沼田祇園囃子（無形）」、「平出歌舞伎（無形）」の後継者の育成と確保が図られるとともに、観光客の増加に寄与できるほか、文化財の活用も図られる。</p>			
10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）			
事業概要：	伝統文化親子教室事業（あけぼの座人形芝居子ども教室）		
事業概要：			
事業概要：			
11 「文化財保存活用地域計画」の作成・認定や「文化財保存活用大綱」の策定、「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等			
<p>沼田市は群馬県北東部に位置し、利根沼田地域の中核都市であり「森林文化都市宣言」を行い、自然・文化環境の整備を推進し、郷土を愛し、文化のかおり高いまちづくりを目指している。</p> <p>市内中心部には、中世に真田氏が大規模に整備した市指定史跡「沼田城址」があり、現在は都市公園として整備・活用されているが、沼田公園長期整備構想（平成4年度策定）に基づき、沼田城など歴史的な財産や文化財を活用するため、発掘調査などを行い少しずつ整備を進めており、あらたな文化の維持整備・歴史的観光価値を高めるため、「歴史文化基本構想」についても検討している。</p>			
12 担当部局			
地方公共団体 担当部局課	沼田市教育委員会事務局 教育部 生涯学習課（社会教育係）		

## 7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分 1 :	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分 1 :	地域の文化遺産への来場者数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 1 :	文化遺産の認知度	関連事業:		①		
目標値 1 :	【現状値】 平成 28 年度 0.9 % ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 1.2 %					
設定根拠 1 :	市の人口に対しての来場者数の割合 (人口減少、少子化高齢化が進展しているため、概ね現状維持とする。)					
進捗状況 1 :	各年度, 状況値, 目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
2.0 %	2.0 %	%	%	%	%	
367%	367%					
目標区分 2 :	伝統文化の継承体制の維持・確立					
評価指標区分 2 :	祭礼行事等の保存会会員数、保存団体数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 2 :	毎年 4 月に行われる地域の祭典への参加者数	関連事業:		②、③		
目標値 2 :	【現状値】 平成 28 年度 150 (単位) ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 150 (単位)					
設定根拠 2 :	人口減少、少子化高齢化が進展しているため、参加者数は概ね現状維持とする。					
進捗状況 2 :	各年度, 状況値, 目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
150 (単位)	150 (単位)	(単位)	(単位)	(単位)	(単位)	
#DIV/0!	#DIV/0!					
目標区分 3 :	伝統文化の継承体制の維持・確立					
評価指標区分 3 :	祭礼行事等の保存会会員数、保存団体数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 3 :	沼田市伝統文化活性化実行委員会会員数	関連事業:		①、②、③、④		
目標値 3 :	【現状値】 平成 28 年度 385 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 400 人					
設定根拠 3 :	人口減少、少子化高齢化が進展しているため、会員数は概ね現状維持とする。					
進捗状況 3 :	各年度, 状況値, 目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
385 人	390 人	人	人	人	人	
0%	33%					
目標区分 4 :	伝統文化の継承体制の維持・確立					
評価指標区分 4 :	祭礼行事等の保存会会員数、保存団体数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 4 :	沼田市伝統文化活性化実行委員会構成団体数	関連事業:		①、②、③、④		
目標値 4 :	【現状値】 平成 28 年度 3 団体 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 5 団体					
設定根拠 4 :	人口減少、少子化高齢化が進展しているため、構成団体数は概ね現状維持とする。					
進捗状況 4 :	各年度, 状況値, 目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
3 団体	3 団体	団体	団体	団体	団体	
0%	0%					

## 8 (2) 実施事業の概要 別紙

事業①：	沼田市文化遺産の祭典					実施団体：	沼田市伝統文化活性化実行委員会				
事業区分：	普及啓発					事業期間：	平成 25 年度 ~ 平成 33 年度				
事業概要：	多くの市民に対して、市指定重要民俗文化財である「沼田祇園囃子（無形）」「沼須人形芝居（有形・無形）」「平出歌舞伎（無形）」などの内容や活動状況を紹介するとともに、人形芝居の特設舞台と沼田祇園囃子演奏のための山車（まんど）を設置し、地域伝承芸能の普及啓発を行う。										
評価指標区分：	・フェスティバル出演団体の保存会会員数					(具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標：	参加団体の合計会員数（現状維持）										
目標値：	【現状値】 平成 28 年度 385 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 400 人										
進捗状況：	各年度，状況値，目標に対する達成率										
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度						
385 人	390 人	人	人	人	人						
0%	33%										
事業②：	沼須人形芝居こども教室					実施団体：	沼須人形芝居あけぼの座				
事業区分：	後継者養成					事業期間：	平成 23 年度 ~ 平成 33 年度				
事業概要：	先輩座員から、市指定重要民俗文化財（有形・無形）の「沼須人形芝居」の歴史、演目の内容や人形遣い、小道具の扱い方、裾さばきの技術を伝承する教室を実施するとともに、発表会（公演）に参加し、後継者の育成を図る。										
評価指標区分：	・保存会会員数の変化（維持）					(具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標：	沼須人形芝居あけぼの座会員数										
目標値：	【現状値】 平成 28 年度 25 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 25 人										
進捗状況：	各年度，状況値，目標に対する達成率										
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度						
25 人	30 人	人	人	人	人						
#DIV/0!	#DIV/0!										

事業③：	沼須人形芝居義太夫教室					実施団体：	沼須人形芝居あけぼの座				
事業区分：	後継者養成					事業期間：	平成 24 年度 ~ 平成 33 年度				
事業概要：	沼須人形芝居の重要な役割を担い取得の難しい義太夫と三味線について、専門の講師を招き、基本の技術を習得するための教室を実施するとともに、基本技術を習得した者については、より高度な技術の習得と向上を目指した教室を実施する。										
評価指標区分：	・その他					(具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標：	公演会及び発表会数 (現状維持)										
目標値：	【現状値】 平成 28 年度 10 回 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 10 回										
進捗状況：	各年度, 状況値, 目標に対する達成率										
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度						
6 回	5 回	回	回	回	回						
#DIV/0!	#DIV/0!										
事業④：	沼田祇園囃子後継者育成事業					実施団体：	沼田祇園囃子保存会連合会				
事業区分：	後継者養成					事業期間：	平成 23 年度 ~ 平成 33 年度				
事業概要：	市指定重要無形民俗文化財である「沼田祇園囃子」の中で、主導的な役割を担う笛方の練習をメインに教室を実施するとともに、会員の技術向上のための講習・錬磨を行い、無形文化財の継承と保存を図る。										
評価指標区分：	・保存会会員数の変化 (維持)					(具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標：	沼田祇園囃子保存会連合会の会員数										
目標値：	【現状値】 平成 28 年度 350 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 365 人										
進捗状況：	各年度, 状況値, 目標に対する達成率										
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度						
350 人	350 人	人	人	人	人						
0%	0%										